

# 通電火災を防ぐ主なポイント

地震や水害などの災害による停電が発生したときには、「通電火災」に気をつけなければなりません。

通電火災とは、停電からの再通電時に、電気機器や電気配線から発生する火災のことです。

停電が発生した場合は、以下の対応をとるように心がけましょう。

- 1 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
- 2 停電中に自宅等を離れるときはブレーカーを落とす。
- 3 再通電時には、電化製品や配線・コードなどに破損がないことや、近くに燃えやすいものがないことを確認してから使用する。
- 4 再通電後は、しばらく電化製品等に異常（煙・におい）がないか注意を払う。
- 5 煙の発生等の異常を発見したときは、直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡する。

また、地震を感知したときに自動的にブレーカーが落ちる「感震ブレーカー」の取り付けが効果的です。電気火災対策として、取り付けを検討してみてはいかがでしょうか？